



千五十年の昔、国司・紀貫之がしるした「土佐日記」の門出の日をしのぶとともに、国府史跡の普及を目的に、土佐日記門出のまつり実行委員会（乾常美会長）の主催で『第八回土佐日記門出のまつり』が、十二月二十一日、比江の紀氏邸跡で約百五十人が参加して行われました。

開催日が旧暦から新暦の十二月二十一日に変更、穏やかな晴天の中で行われた。まつりは、紀貫之をしのぶ祭典から始まり、続いて国府小体育館に移り岡林清水高知大学名誉教授の特別講演、懇話会が行われ、参加者は紀貫之の門出の日をしのびました。

# 紀貫之をしのび

## 土佐日記 門出のまつり

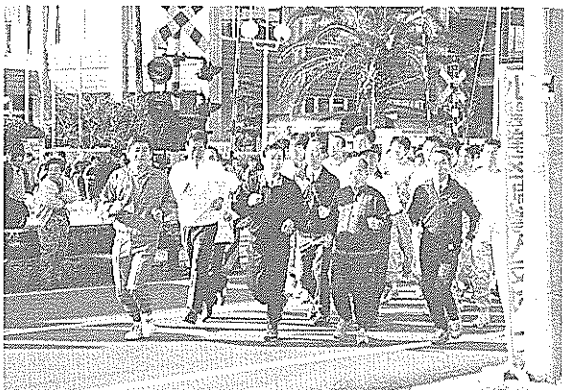


今回は、土佐日記門出のまつりのPRのため、前日の二十日に高知市世屋町でチラシの配布とふるまい粥を行いました。

土佐のまほろば囃子の演奏の中、道行く人たちにまつりのチラシを配りながらかぼちゃ粥を振る舞いましたが、用意された二百食程度の粥も二時間足らずでなくなるほどの盛況でした。



### 南国市体育始め



### カメラレポート



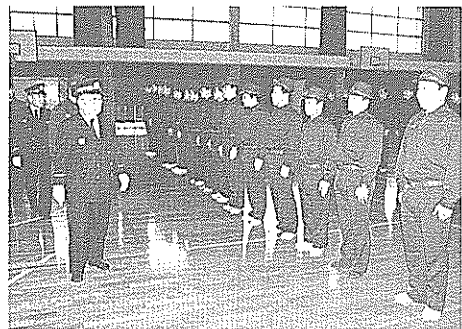
新春恒例の南国市体育始めが、一月四日、市役所から後免町を回る約一キロのコースで行われました。

大町市長、香長中学校の生徒など二百人余りの参加者は、市長を先頭にスタート。途中、日吉神社で今年一年の健康を祈願し元気にコースを駆け抜けました。

### 消防出初め式

南国市消防出初め式 南国はその玄関口として、一月六日、南国市で事故の多発も予想される。副県都としての消防署員、市内十二分団の団員ら約二百五十人が参加して、市立体育館で行われました。

式では大町市長が「今年には高速道の開通により県土開放の年、



### 「社会福祉に役立てて」と



### 「方言の温もりを」

十二月九日、講演会や研究発表など、活発な活動を続けている久礼田地区史談会（沢村明夫会長）が、高知大学名誉教授の土居重俊さんを迎えて、講演会を開催。土居さんは近著「土佐弁土佐日記」などで知られる方言の



沢村明夫さん  
「活動を通じて、意外と知られていなかった自分たちの身近な歴史を、見出し出していく喜びが、会の支えです。」

会報もすでに六十六号を発行。県下でも優れた活動をしている会員のひとりひとりの熱意が誇りです。」